

個別事業計画書

所管部署：教育委員会 社会教育課

(単位:千円)

事業名	いきいき健康事業		細事業名	青少年スポーツ育成事業		新継区分	継 続
総合振興計画の位置づけ	第1章 生涯充実して暮らせる都市を創る		根拠法令等	スポーツ振興法			
	3 生涯にわたって学び、活かす機会をつくる						
	(4) スポーツ・レクリエーション活動の振興						
事業実施期間	平成 20 年度 ～ 平成 22 年度		年度	当該年度における事業の実施内容	当該年度に目指す成果・効果	事業費	
現状の課題	スポーツ振興を通じた子どもの体力向上は、人間が発達・成長し、創造的な活動を行っていくために不可欠なものであり、様々な事業の実施が求められている。		各計画年度ごとの事業概要と目標・事業費	平成 20 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・南丹市長杯(南丹カップ)各種スポーツ大会の開催(支援) ・ジュニアスポーツ教室、講習会の開催 ・近畿マリンスポーツ交流大会の開催(当番市) ・子どもの体力検定の実施 ・プロ、実業団チーム、世界的選手の教室も開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生教室の開催により、実施種目の中学校クラブ加入の増加傾向も見られ、また少年スポーツ団体への関心もより深まりつつあると思われる。 また、中学生を対象とした教室の開催により競技力の向上へも効果がある。 	1,150
具体的な実施内容	スポーツ振興を通じた子どもの体力向上は必要・不可欠である。子どもの体力向上のため、以下の事業を実施する。			平成 21 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・南丹市長杯(南丹カップ)各種スポーツ大会の開催(支援) ・ジュニアスポーツ教室、講習会の開催 ・子どもの体力検定の実施 ・プロ、実業団チーム、世界的選手の教室も開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生教室の開催により、実施種目の中学校クラブ加入の増加傾向も見られ、また少年スポーツ団体への関心もより深まりつつある。 また、中学生を対象とした教室の開催により競技力の向上へも効果がある。 	1,233
事業の目的	子どもの体力の向上、運動能力の向上を図るため、スポーツの喜びを感じられるよう、事業を実施し、青少年スポーツ団体への参加を促進する。			平成 22 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・南丹市長杯(南丹カップ)各種スポーツ大会の開催(支援) ・ジュニアスポーツ教室、講習会の開催 ・子どもの体力検定の実施 ・プロ、実業団チーム、世界的選手の教室も開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生教室の開催により、実施種目の中学校クラブ加入の増加傾向も見られ、また少年スポーツ団体への関心もより深まりつつある。 また、中学生を対象とした教室の開催により競技力の向上へも効果がある。 	1,233
事業の効果	・小学生教室の開催により、実施種目の中学校クラブ加入の増加傾向も見られ、また少年スポーツ団体への関心も深まりつつある。						